



2月22日開催 東地申第46号

2021年3月ダイヤ改正に関する申し入れ 【田端運転所】団体交渉を行う！ その1

【相互運用】

1. 担当業務間の相互運用に関して田端運転所における計画を示すこと。

【回答】: 社員の運用については、就業規則に則り取り扱うこととなる。

(組合) 考え方を具体的に示すこと。また、今後運輸区になればどのようなようになるのか明らかにすること。

(会社) 就業規則に則り取り扱う。準備出来次第である。運輸区について示せるものはない。

【共通】

1. 田端運転所(乗務員・検修)の今後の役割と将来展望について明らかにすること。

【回答】: 乗務職については、「今後の乗務員基地について」(2018年12月)で示したとおりである。また、車両職については、車両投入計画等の環境変化を踏まえ体制を検討していくこととなる。

(組合) 現場長が年頭あいさつで乗務線区の拡大ということを明言しているが、考え方を示すこと。

(会社) 東海道線については臨時列車であり乗務範囲でもあるため、車種によって大きく変わるものではない。

(組合) 運輸区になった場合、検修部門はどのようなようになるのか示すこと。

(会社) **運輸区になった場合、検修部門は切り離されると考えている。**

【運転関係】

1. 乗務員の標準数が4減となる根拠を示すこと。

【回答】: 列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。また、外勤の体制を見直している。

(組合) 外勤の体制変更について明らかにすること。

(会社) 機関車の定期運用がなくなっているため、体制を見直して臨時で設定していく。

(組合) 標準数が4減の内訳を示すこと。

(会社) **外勤で1日勤減、短時間行路が1減、平日の行路1枠減、土休日のカット行路1増であり、年間の作業量を総合的に勘案して△4である。**



2月22日開催 東地申第46号

2021年3月ダイヤ改正に関する申し入れ 【田端運転所】団体交渉を行う！ その2

2. 平日12行路の1598E(東京～古河)及び1593E(古河～東京)を平日19行路が担当すること。

【回答】:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

(組合)組み換えを検討すること。

(会社)行路としては成立する。全体のバランスを見て行路を作成していく。

3. 平日18行路の回1554E～回1687Eが東大宮操車場折り返しとなる理由を示すこと。不要であれば尾久駅折り返しとし、回1687Eの時刻を上げることで明けの終了時刻を早くすること。

【回答】:列車ダイヤの設定は、車両運用、設備条件等を考慮して作成している。

(会社)尾久や上野は混んでいるため、直近で折り返しが可能なのが東大宮である。

(組合)技量維持の観点から東大宮での折り返しも必要であるが、回送ロスをなくすこと。

(会社)回送はなるべく少なくするようにしている。現時点では東大宮が直近である。

4. 平日19行路明けの1561E(尾久～東京)を平日13行路の担当とすること。それに伴い尾久駅での停車時分を1分とすること。

5. 休日14行路は以下の通りの行路とすること。

回1683E(尾久～東京)、1596E(東京～宇都宮)、1639E(宇都宮～東京)、便乗(東京～上野)、549M(上野～宇都宮)、翌530M(宇都宮～上野)、回530M(上野～尾久)

6. 休日15行路の1626E以降は休日14行路の1634E～2559Yとし、新宿～小金井は便乗とすること。また明けの部分は休日16行路の明けの部分とすること。

7. 休日16行路の1645E以降は休日14行路の1672E(東京～宇都宮)とし、明けの部分は休日14行路の明けの部分とすること。

8. 休日18行路は尾久～宇都宮便乗とし、以降は次の通りとすること。

【回答】:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

(組合)行路を組みかえるように検討すること。

(会社)行路としては成立する。



2月22日開催 東地申第46号

2021年3月ダイヤ改正に関する申し入れ 【田端運転所】団体交渉を行う！ その3

9. 休日7117行路を休日6017行路として運用した場合拘束時間が6時間48分であるが短時間行路の拘束時間の上限を明らかにすること。

【回答】:乗務割交番作成規程に基づき行路を作成している。

(組合)短時間行路の上限は決まっているのか明らかにすること。

(会社)具体的な時間の制約はない。区所と調整して設定している。

10. 育児介護に利用しやすいとされる10時頃出勤～16時頃退勤の短時間行路を設定しなかった理由を明らかにすること。

【回答】:短時間行路については、箇所の実態に応じて設定している。

(組合)育児介護制度を利用者が発生した場合の対応方法を明らかにすること。

(会社)利用する人が発生した場合は、行路を切り出していく。

(組合)育児介護行路の設定に対する考え方を明らかにすること。

(会社)ダイヤ改正の時点で利用者がいる場合は必要な行路を設定していく。

【車両・検修関係】

1. キヤE195系の仕業検査について、風雨の中で検査を行うと雨水の浸入による車両故障が想定されるため検修庫内で行うこと。

【回答】:現状で対応されたい。

◆田端運転所が検査するものを明らかにすること。

◆仕業検査の中で床下機器箱をあける作業が発生するが、風雨の影響はあるのか明らかにすること。

◆夏は暑く冬は寒いなどの労働環境を改善するために、庫を新設すること。

組合

◆キヤ E195系の ST の仕業検査を田端運転所が担当する。運用が開始され次第、南部機留の屋外で検査を行うこととなる。

◆床下の点検フタを開けて検査を行うが台枠の奥まった部分であり、雨等が侵入し車両故障につながる恐れはない。

◆設備について現時点で検討はしていないが、今後も状況を把握していく。

会社

S&E構創の考え方に基づいて働きがいのある設備にしていくべきだ！



2月22日開催 東地申第46号

2021年3月ダイヤ改正に関する申し入れ 【田端運転所】団体交渉を行う！ その4

2. 田端運転所南部機留の給油設備工事の進捗状況を明らかにすること。

【回答】:キヤ E195系の本運用開始までに整備予定である。

(組合)進捗状況を具体的に明らかにすること。

(会社)当初もう少し早く整備する予定であったが、運用開始までに整備していく考えである。

運用開始までに設備を整備することを確認！

3. GV-E197系とE493系の導入計画について明らかにすること。

【回答】:2021年春以降、GV-E197系は高崎車両センター高崎支所、E493系は尾久車両センターに先行投入予定である。

◆田端運転所に関係することについて具体的に明らかにすること。

◆運転士は田端運転所を想定しているのか明らかにすること。また、ゆとりのある教育を行うこと。

◆プロジェクトチームについて考え方を具体的に明らかにすること。

◆プロジェクトチームだけで情報共有するのではなく、職場全体で情報共有すること。

組合

◆E493系が尾久車両センターに先行車が投入される。導入に向けて尾久車両センターと田端運転所の総力で準備をしていく考えである。E493系は交直流車であるが、役割としては EL であるため、尾久車両センターと田端運転所でプロジェクトチームをつくっていく予定である。

◆想定している。そのための教育も必要であると認識している。引き続き必要な教育は実施していく。

◆プロジェクトチームについては、今後発足する予定であり、メンバーなどはまだ決まっていない。性能試験などを行っていくが、どれくらいの期間かかるのかは一概には言えない。

会社

安全を大前提として ダイヤ改正以降も検証運動を強化していこう！